

戸田交差点立体化による整備効果

○開通前は、赤矢印のような渋滞が発生していました。

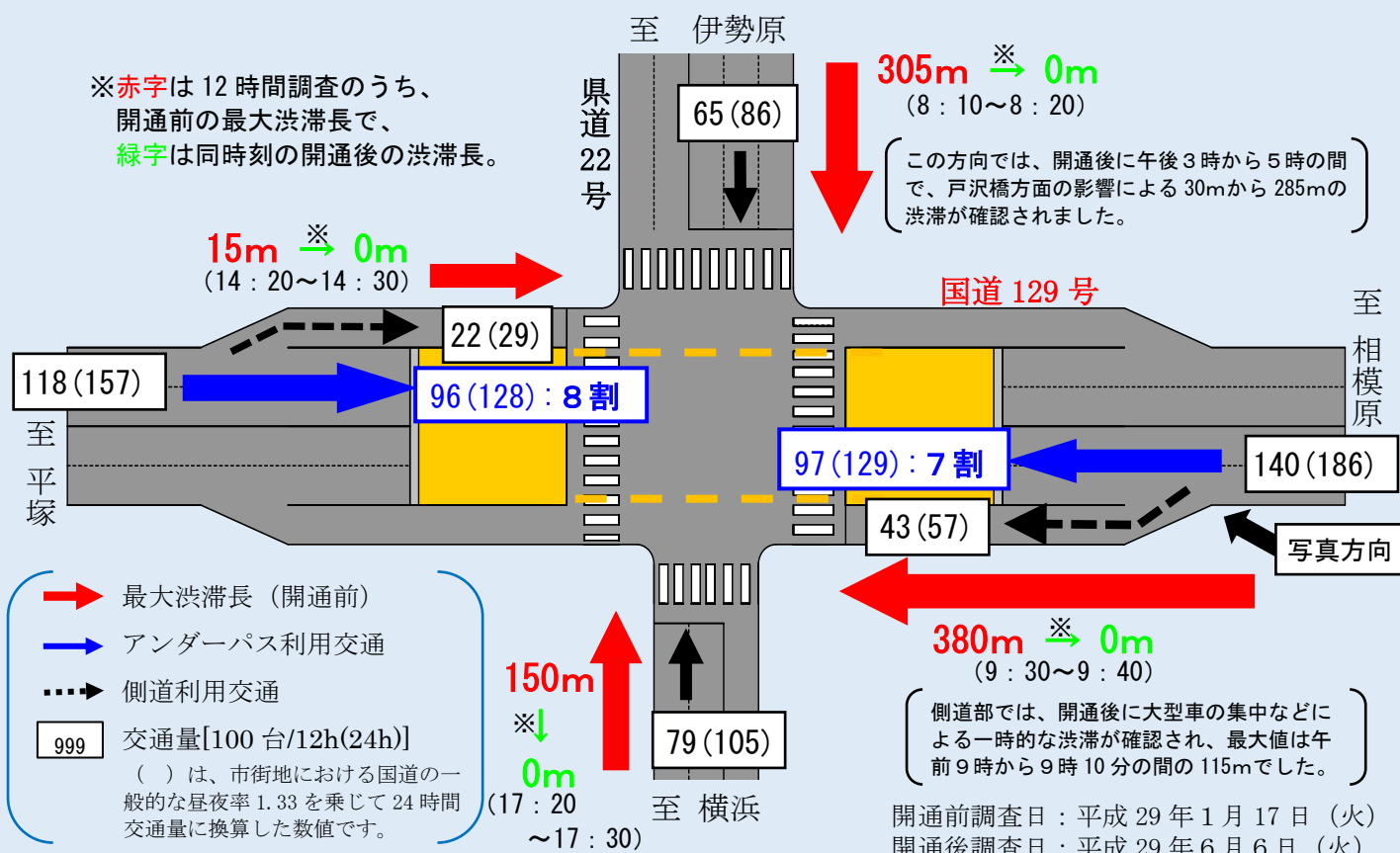
○開通後は、国道 129 号を走行する車両の約 7 ～ 8 割がアンダーパスを利用しています。

○国道 129 号の戸田交差点を先頭とする渋滞がほぼ解消しました。

戸田交差点における渋滞長・交通量調査結果

(12 時間 7 : 00～19 : 00)

※赤字は 12 時間調査のうち、
開通前の最大渋滞長で、
緑字は同時刻の開通後の渋滞長。



整備前



整備後



国道 129 号の相模原から平塚に向かう車線では、最大渋滞長 380m から換算すると、
最大で約 20 分の時間短縮 ができました。

戸田交差点立体交差事業の概要（参考）

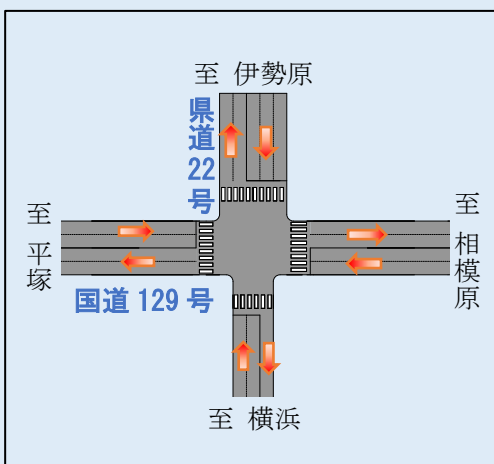
国道 129 号は、平塚市の国道 134 号から厚木市を経て相模原市の国道 16 号にいたる県土の南北主要交通軸ですが、厚木市域においては、東名厚木 I C と接続していることもあり交通量が非常に多く、県土の東西主要交通軸である県道 22 号（横浜伊勢原）との戸田交差点付近では、交通渋滞が慢性化していました。

こうしたことから県では、戸田交差点付近における交通の安全と円滑化を図るため、平成 12 年度から国道 129 号が県道 22 号をアンダーパスする「戸田交差点立体化」事業を進め、平成 29 年 3 月 25 日に供用を開始しました。

- 事業箇所 厚木市 戸田～酒井 地内
- 事業延長 L=約 1,200m
- 基本幅員 W=22m～37.5m
- 供用日 平成 29 年 3 月 25 日
- 事業期間 平成 12 年度～平成 29 年度



事業着手前（平面交差）



完 成（立体交差）

